



2019年3月5日 (火)

NO. 940号

本号3頁

憲法会議 54回全国総会を開催

共同・共闘の力で、安倍9条改憲を阻止し、 安倍政権を倒そう!

憲法会議は3日、第54回全国総会を40名の参加で、都内で開催しました。総会は、新たな日米ガイドラインの戦略にもとづき、アメリカにつき従って日本を戦争する国につくりかえるために9条改憲を行おうという歴史的逆行の企てを許してならないと、安倍改憲策動の現状と国民との矛盾など情勢の特徴を共有し、当面の課題と果たすべき役割を明確にし、それを執行する体制を確立することを目的に開催されました。

吉田健一代表幹事の開会あいさつ、船尾徹自由法曹団団長の代表委員あいさつの後、高橋信一事務局長が方針を提案しました。高橋は、昨年の通常国会と臨時国会で、改憲論議を許さなかった力は、全国で安倍9条改憲に反対する全国3000万人統一署名にとりくみ、世論を大きく変えたことだと強調。そして、3000万人署名を早期に達成し、安倍9条改憲発議をさせないために、①共同の力で安倍政権を退陣に追い込み、安倍改憲と安倍政権に終止符を打つ、②憲法会議の最大の果たすべき役割である「憲法学習」を運動の中心に据える、③都道府県・地方憲法会議の体制を強化することを提案しました。

参加した各地・各団体の11名の代表が発言しました。大阪憲法会議の山田事務局長は「署名欄のあるはがき付きリーフを配布し、返信が多く寄せられている。総会がりの行動を地域に広げ、3000万人署名を必ずやりきる」と発言。自治労連の小泉執行委員は「憲法尊重擁護の義務を持ち、戦前、戦争に国民を巻き込んだ痛苦の経験を持つ自治体役員として、必ず改憲を阻止したい」と発言しました。

発言の後、総会議案、2018年度決算・2019年度予算を全会一致で採択し、2019年度の新しい役員を選出しました。最後に、代表委員の隅野隆徳専修大学名誉教授が「今が正念場、安倍改憲阻止に向けて全力で奮闘しましょう」と閉会あいさつ。第54回全国総会は総会の課題を達成し、安倍9条改憲、安倍政権打倒の決意を固め合う場となりました。

春の憲法講座を開催!

総会前には「春の憲法講座」を開催し、130名が参加。塩川鉄也衆議院議員・日本共産党国会対策委員長代理が「野党共闘で安倍暴走政治を許さない」とのテーマで国会報告。小林武沖縄大学客員教授が「安倍政治の終焉と憲法の再生—沖縄から展望する」とのテーマで講演しました。

塩川鉄也日本共産党国会対策委員長代理が、「春の憲法講座」で国会情勢報告

塩川議員は、時折笑いを誘う話もおり込みながら、統計不正問題、消費税増税、大軍拡・沖縄基地問題など今国会の焦点となっている論戦を詳細に紹介するとともに、国会での野党共闘の活動もとりあげました。そして、「安倍9条改憲を許さぬたたかきに全力を挙げます」と決意を語りました。



小林武氏、県民投票は「パーフェクトな勝利」と語り、改憲と沖縄問題を語る!

沖縄大学客員教授の小林武氏は、自己紹介の後、「2・24県民投票のご報告」として県民投票への激しい安倍政権・官邸の攻撃のもとでも県民がたちあがり奮闘する中で「パーフェクトな勝利」を勝ち取ったと報告し、県民投票「問題」は、「安倍非立憲政治を終焉させなければならない重大な証左」だと述べました。



そして、①救国の課題としての安倍政治の終焉、とのテーマで「安倍非立憲政治の特質」、「安倍改憲提唱、とくに「自衛隊明記論」の意味するもの」について語り、その後②沖縄から憲法の再生を展望するとして、米軍基地問題を語り、日米地位協定の抜本的改定の要求が広がっていると指摘し、「平和的生存権」と「抵抗権」について語り、最後に「沖縄によって日本全体が救われるのではないかという思いがする」とむすばれました。

衆院憲法審査会の再始動に向けて、

自・公・維新等が審査会幹事懇談会を開催！

自民、公明両党と日本維新の会などは1日、今国会で初めて衆院憲法審査会の幹事懇談会を開きました。自民党は2019年度予算案の衆院通過を受け、3月中に審査会を開き、憲法改正論議を再始動させたい考えです。

与党筆頭幹事を務める自民党の新藤義孝氏は懇談会后、記者団に、「与野党が憲法論議を深めるのを国民が期待している。政局を離れて、国家・国民のための論議を深める使命を果たしたい」と語りました。懇談会では、野党との日程協議を新藤氏に一任することを確認しました。自民党は、継続審議となっている国民投票法改正案を早期に成立させた上で、今国会中に「自由討議」を開き、4項目の党改憲案を提示するシナリオを描いています。



改憲に慎重な公明党も、改正案成立後の自由討議までは容認する構えです。斉藤幹事長は1日の記者会見で「即、(改憲の)発議につながる状況ではない。各党派が提案し、それを議論するのは憲法審のあるべき姿だ」と同調しました。

カギを握るのは立憲民主、国民民主両党、日本共産党等の野党の動向です。昨年臨時国会では自民党の強硬姿勢が反発を招き、会期終盤まで審査会を開けませんでしたので、自民党はその反省から、今国会では慎重に野党との協議を進める構えのようです。

憲法論議に比較的前向きとマスコミ等から見られている国民民主党は、小沢一郎共同代表が率いる自由党との合流協議を進めており、「『小沢カラー』から憲法論議でも対決姿勢が強まる」(自民党ベテラン)との見方があり、懇談会でも小沢氏の影響について話題に上ったと報じられています。

自民党で臨時国会と同様に、立民と国民が重視する国民投票を巡るCM規制の議論を先行させ、憲法論議の呼び水にする開催する構えです。新藤氏は1日、「予断を持って、形を決めて交渉を迫ることは考えていない」と記者団に述べ、野党の意向を取り入れる姿勢を示しました。

今国会は参院選を目前に控え、「共産党を含めた野党の結束が高まる」(公明党幹部)とみられ、野党は憲法論議により消極的になるとの見方が強く、論議が進展する道筋は見通せない状況です。

3・6共謀罪法廃止！秘密保護法廃止！

「12・6、4・6を忘れない6日行動」にご参加を

憲法会議も参加しています共謀罪NO！実行委員会と「秘密保護法」廃止へ！実行委員会の共催による「3・6共謀罪法廃止！秘密保護法廃止！国会行動へ！—12・6、4・6を忘れない6日行動—」が行われます。是非、ご参加ください。

◆国会前行動

とき 3月6日(水) 12時～13時
ところ 衆議院第二議員会館前

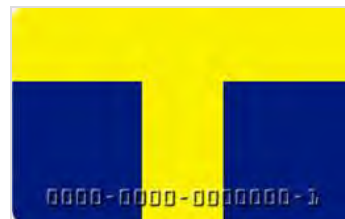
◆院内集会

とき 3月6日(水) 13時30分～15時30分
ところ 衆議院第二議員会館第1会議室

挨拶 国会議員

お話 横山 雅弁護士(元自由法曹団事務局次長)

「検察・警察の捜査照会による情報収集の危険性について」



この間、捜査機関がTカードから裁判所の令状をとらず「捜査照会」によって個人情報を取得していることが明らかになりました。店やサービスを利用するとポイントがたまるTカードには利用者のさまざまな情報が集積されています。これらの個々の情報を集めれば、利用者の趣味、思想、行動パターンなどもわかります。これは、恐るべきプライバシーの侵害です。

Tカードの利用者は約7千万人といわれています。捜査機関は、捜査照会を活用すれば、多くの市民の情報を入手できます。

世論の批判の前に、Tカードの運営会社は令状なしに個人情報の取得には応じないと方針を転換しましたが、「捜査照会」による個人情報の取得はTカードに限らず、広範に行われています。

私達は、令状もなく、個人情報を取得できる「捜査照会」について、このままでよいのか、真剣に考えなくてはならない時期にきています。

横山弁護士をお招きし、「捜査照会とは何か、その危険性とは」についてお話していただきます。

各地のとくくみ

山形 「子や孫たちの未来が平和であるようにと願っています」と署名

憲法を守り、生かす山形県民運動実行委員会は2月28日、山形市で安倍9条改憲ノーの3000万人署名の宣伝・署名行動を繰り広げました。

安倍首相の「自衛隊を憲法に明記するだけです。何も変わりません」との主張は「国民だましの手口です」というチラシを配布しながら対話し、署名を呼びかけました。

東京から来たという70代の男性は「今の憲法を一貫して守りたいと思ってきました。戦争をしないことを誓った憲法をなぜ変える必要があるかについて、安倍首相の言い分は分からない。今後も憲法を守るために頑張ります」と署名しました。

「戦争はいやです。子や孫たちの未来が平和であるようにと願っています」と署名した女性もいました。

複数で帰宅する女子高生も足を止めて、じっくのと話を聞いた後に快く署名しました。

兵庫 ロバート・カジワラさんの辺野古中止新請願への署名よびかけ

週刊兵庫憲法共同ニュース699号では、3月3日赤旗しんぶん記事を紹介し、付きのように紹介し、協力と呼びかけています。

◇沖縄にルーツを持つハワイ在住のロバート・カジワラさんが米ホワイトハウスの請願サイトで、名護市辺野古の米軍基地建設の中止を求める署名を呼びかけています。同建設の是非を問う県民投票実施まで土砂搬入をやめるよう求めた請願に続くものです。

新たな請願はホワイトハウスが開設した「ウィー・ザ・ピープル」のサイトで2月27日に開始され、すでに約6000の署名が寄せられています。

カジワラさんは、「沖縄県民は歴史的な県民投票で、基地に反対する圧倒的な意思を示した」と述べ、「沖縄のサンゴ礁と民主主義を守り、不必要な基地建設をやめてください！」と呼びかけました。



前回の請願では約21万人が署名。米政府が60日以内に何らかの対応を行う条件となる「開始30日で署名10万」を達成しています。

署名は13歳以上で電子メールアドレスをもっていれば、国籍を問わず誰でもできます。ウェブサイト

<https://petitions.whitehouse.gov/petition/save-democracy-and-coral-reef-okinawa>

◇兵庫の5月3日のとりくみ

戦争させない、9条壊すな、5・3兵庫憲法集会

主催：総がかり行動兵庫県実行委員会 場所：神戸・東遊園地

時間：14:00～

司会：小山乃里子さん

ゲストスピーカー：落合恵子さん

演奏：川口真由美さん

パレード：15時～